



番外編

Little Creators フェスティバル ～ WA

目 的

アート（表現活動）を使って国内外のいろいろな生活環境の子どもたち（18才以下）を交流させるとともに、その作品をオンライン文化祭として発信する。活動に賛同して下さる方に寄付を募り、恵まれない環境に育つ子どもたちに ICT 環境を提供する資金とする。

概 要

児童養護施設の子ども、普通で家庭で育つ子ども、海外の子ども。多様な背景に育つ子どもを集めて文化祭を開催する。新型コロナウイルス感染拡大の影響により物理的に一堂に会することが難しいため、創作過程で Zoom 等のオンライン会議システムを活用して、日本と海外の参加者が交流する機会を創出する。各国の生活文化や子どもが作ったアート作品をきっかけに交流を促して相互理解を図るとともに、ICT 技術を道具として利用することの価値を実感させる。美術、ダンス、音楽、食文化、インタビューの5つの柱にそって活動を展開し、作品や制作過程を映像やデジタル技術を活用した「バーチャル文化祭」として当 NPO のホームページ上で発表する。

■**タイトル：** チャイルド・エイド・アジア 番外編 **Little Creators フェスティバル ～ WA**

■**テーマ：** **WA**

WA という音を聞くと、輪、和、我などさまざまな感じが思い浮かぶ。今、それぞれが個あるいは孤独を感じる生活を強いられる中、人とのつながりを WA をテーマに探っていく。

■**期間：** **活動期間 2021年5月～2022年1月（予定）**

配信期間 2022年2月11日（祝）～3月21日（祝）

* 配信はリトル・クリエイターズのホームページ上

■**参加者：** **18才以下の児童養護施設の子どもたち、当 NPO の活動に賛同する日本、シンガポール、マレーシア、インドネシアの子どもたちなど約 130 人を予定。**

※作品はリトル・クリエイターズのホームページ上に掲載、広く国内外に告知し、3,000 人の視聴を目標とする。

*ただし、児童養護施設の子どもの活動を配信する時はプライバシー保護に注意、配慮する。

■**参加・視聴料：** **無料**

■**主催：** NPO リトル・クリエイターズ

■**助成：** 日本万国博覧会記念基金



活動内容と発表作品

◆美術：1. 絵巻物製作（作品制作）とメイキング映像 ※予定

日本の児童養護施設とアジア2カ国の子どもたちが、「WA」をテーマに1枚の絵画作品を共同制作。作品が完成した時に、参加国の子どもたちがオンライン会議システムで交流を行う。その過程や作品を児童養護施設の子どもたちが撮影し、メイキング映像を制作。

活動時期：6～1月

2. 動く展覧会（作品制作+デジタル）※予定

聖園子供の家（日本）とユ・ネン小学校（シンガポール）で「WA」をテーマに絵葉書を作成。それを素材としてARアプリを使って“動く絵葉書”を制作する。

活動時期：9～1月

発表方法：バーチャル展覧会

3. 聖園子供の家の子どもたちによるアート作品（作品制作+デジタル）

聖園子供の家（日本）の子どもがNPOリトル・クリエイターズのアートワークショップで作成するアート作品をバーチャル展覧会形式で紹介。

◆ダンス：国内外の子どもたちのダンスコラボレーション（ダンス+映像）

3分程度の楽曲にあわせて参加国のダンス・グループがそれぞれの振り付けで踊り録画。これを編集して発表。日本は児童養護施設のダンス・グループが参加予定。

楽曲は、チャイルド・エイド・アジアのOG/OBが演奏し、録音する。

活動時期：7～1月

◆音楽：参加国の若い演奏者たちによるコラボレーション（演奏+映像）

「チャイルド・エイド・アジア」のOBが選曲・編曲した曲を、各国の演奏者が演奏を録画し、映像で競演する。日本の演奏者はオーディションで決定、海外は各国のプロデューサーが選抜予定。

楽曲構成：1. 日本の歌

2. クラシック音楽

3. 「チャイルド・エイド・アジア」のOB・OGからオリジナルメロディ（8小節あるいは16小節の主旋律）を募り、それを基に編曲したもの

4. チャイルド・エイド・アジアのテーマ曲「輝く明日へ」（2020年発表済み）

活動時期：7～11月。

◆食文化：参加国の子どもたちから自分が作った料理を紹介（映像/画像）

各国参加者が、オンライン会議システムで料理の作り方と味や由来を紹介する。

活動時期：12月～1月

◆インタビュー：児童養護施設の子ども（中学生）が参加国の大使館を訪問して大使館員に各国の生活文化や大使館の仕事についてインタビューを行い、その様子を映像で紹介。

（新型コロナウイルスの感染拡大状況によってはZOOMインタビュー）実際に大使館を訪れる場合は、写真・映像撮影も中学生が行う予定。最終的には各3分-5分の映像に編集。

活動時期：事前勉強、インタビューとも夏休み中。平日。

◆その他：当フェスティバルのイメージデザインをリトル・クリエイターズの支援プログラム参加経験者が作成。

NPO リトル・クリエイターズについて

■活動目的

子ども(18歳以下)を中心とする広く一般の市民を対象とし、国内外の子どもがアートとふれあい、アートを通じて世界の子どもとコミュニケーションをとる機会を提供するとともに、アートに関する情報を広く社会に発信することにより、子どもの未来の創造に貢献することを目的とする。

■活動内容

恵まれない環境に育つ子ども、特に児童養護施設に暮らさざるを得ない子どもが、アートをツールとして、①ワークショップや芸術鑑賞会などで自己表現の方法を学び ②それをコンサートやミニ展覧会などで発信、発表する機会を得て ③コンサートや国際交流プロジェクト、海外への渡航を通じて様々なバックグラウンドの子どもと交流をしながら視野を広げ新しい世界を体験できるように、活動をしている。

■沿革

2006年 活動開始。

児童養護施設など恵まれない環境の子どもたちを対象にアート・ワークショップを開催。

2009年 法人登記。

2011年 チャリティーコンサート『チャイルド・エイド・アジア 2011』開催。

その後 2013、2014、2016、2018 年にも開催。

2015年 チャリティーコンサート『Friendship コンサート』開催。2017 年にも。

2016年 シンポジウム『Future Ready Asia～アジアの明日のために』開催。

2019年 10周年記念イベントとして、児童養護施設聖園子供の家で子供達と壁画制作、また

コンサートのテーマ曲「輝く明日へ」をコンサートの OG・OB とシンガポールの子供たちとで録音。

2020年 COVID19 感染拡大により『チャイルド・エイド・インターナショナル 2020』を断念。

代わって、5大陸の子どもたちを招いてバーチャル・コンサートを開催。

■リーチアウト数 (2021年4月末現在)

アートワークショップ	延べ約 1,981 人
コンサート参加人数	舞台 658 人、美術 98 人
バーチャル・コンサート参加人数	9カ国 音楽 100 人、美術 93 人
海外からの招聘者数	5カ国 208 人
シンガポールでのコンサート参加人数	36 人+11 人 (バーチャル)
マレーシアでのコンサート参加人数	16 人+1 人 (バーチャル)
インドネシアでのコンサート参加人数	4 人+1 人 (バーチャル)
シンガポールへの留学者数	1 人
シンガポールでの短期滞在者数	27 人